

2025年6月30日

各位

株式会社 紀陽銀行

フジ住宅株式会社向け 「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の実行について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、フジ住宅株式会社（代表取締役社長：宮脇 宣綱、以下、同社）に対し、「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、本商品）」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本商品の実行は本件が第1号となります。

本商品は、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼすポジティブならびにネガティブな影響を分析・評価し、プラスの影響（ポジティブ・インパクト）の拡大とマイナスの影響（ネガティブ・インパクト）の抑制に向けた取り組みを支援する商品です。同社は、ポジティブ・インパクトを拡大するテーマおよびネガティブ・インパクトを抑制するテーマを特定し、それぞれ目標とKPIを設定しました。当行は、定期的にお客さまが設定したKPIの達成状況を確認し、サステナビリティ経営の高度化に向け支援します。

紀陽銀行は、今後も地域の事業者の皆さまのSDGs達成に向けた取り組みを支援することで、地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

記

1. 本件概要

借入人	会社名	フジ住宅株式会社
	所在地	大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
	代表者	宮脇 宣綱
	設立	1974年4月
	事業内容	①分譲住宅、②住宅流通、③土地有効活用、④賃貸および管理、⑤建設関連事業
実行日	2025年6月30日	
融資金額	1,000百万円	
期間	5年	

2. 同社が事業を通じて特定したインパクト

ポジティブ・インパクトの拡大	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度も環境性能も高い住居の提供強化（社会面） サービス付き高齢者向け住宅の供給の推進 働きやすい職場環境の整備など、人的資本戦略の推進
ネガティブ・インパクトの抑制	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度も環境性能も高い住居の提供強化（環境面） 環境対応の推進

・本件は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定する「ポジティブインパクト金融原則（PIF原則）」への適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）よりセカンドオピニオンを取得しております。

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、ゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

